

第1回「学び」の選択肢拡大に向けた検討懇話会 提出意見

力石 寛夫

1 小学生向けプログラムの開発と実施

(1) 自分の経験から

自分は、自然が豊かな神奈川県葉山町で恵まれた小学校教育を受けた。

- ① 地域の自然や親とのつながりの中で、国や地域を愛することを知ったこと
- ② 英国のことを聞き、英語を勉強したこと

(2) 意図

- ・自分を振り返ってみると、子ども時代の体験が、その後の生き方に大きな影響を与えており、小学生にどのような教育を行うかが重要である。

(3) 提案内容

自分の経験から、以下の2つのことを提案したい。

○地域をテーマにした小学校向け学習プログラム・コンテンツの開発と実施

小学生を対象とした、学習プログラム・コンテンツを県が地域の企業と一緒に開発し、小学校に提供する。

- プログラムのテーマ
- ①自然（熊野古道、伊勢志摩など）
 - ②ものづくり
 - ③エンタテインメント・商業
 - ④食

※ プログラムの手法についてのヒント：キッズニア

※ 三重を愛するガイドブックを製作（例えば食をテーマにする Soul Of Japan の作成した冊子を活用することもできる。）

→小学校、中学校、高校と発展させていくことも考えられる。

○あいさつ教育

あいさつは、人間どうしのコミュニケーションの一番最初にあるものであり、大切であるが、現在はその大切さを家庭でしっかり教育していないので、県内のすべての学校ですべての児童に実施してはどうか。

(4) ポイント

プログラムのテーマの理念、教育目的を明確にする。このことを伝えるDVDを開発する。

- Ex. ・なぜあいさつが大切なのか
・自然をなぜ大切にしなければならないか

2 「食」をテーマとした大学院大学の設置

(1) 意図

- ・三重の若者が県内で学び、職につけることは重要であり、三重県の特徴を生かした産業振興とそれにつながる人材育成を行うことが必要と考える。
- ・三重は、大学収容力が全国46位と低く、この点からも高等教育機関を充実させる必要がある。
- ・三重には、伊勢神宮もあり、食材も豊かであることや、食を学問的に追及する大学が日本にはほとんどなく、全国への発信力も期待できる。

(2) 提案内容

○米国にある The Culinary Institute Of America (CIA) を模範とした食を学問・技術の両面からアプローチする大学院大学の設立

全く新規に設立することが望ましいが、難しい場合は、県内の大学が協力するような形も含めて、検討してはどうか。

(3) ポイント

現在、Soul Of Japan では、法人会員を募って、「食」のプラットフォームづくりを進めており、この活動の中で、食を学問・技術として深め、広めるための「食の教育機関」の設立を検討している。

また、Soul Of Japan では、法人会員を募って、「食」のプラットフォームを作っており、三重県でも県の食文化の向上を目的に「食」のプラットフォームを作ってはどうか。

※The Culinary Institute Of America (CIA) とは

CIAは独立した非営利の専門大学であり、世界最高レベルのプロフェッショナルな料理教養と技術教育を提供する事を使命としている。我々はその学士プログラムと継続的教育プログラムを通じて、常に変化し続ける外食及びホスピタリティー産業に於ける成功を納める為に必要な一般知識と実践技術を学生に提供するものである。ニューヨーク本校のほか、グレイストーン分校(カリフォルニア州セントヘレナ)、サンアントニオ分校(テキサス州サンアントニオ)、シンガポール分校(シンガポール国立 Singapore Institute of Technology 内)の4校がある。